

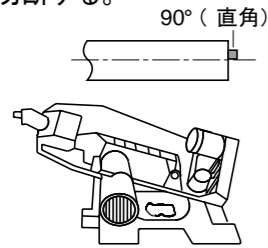
COREシリーズ 施工要領書 施要12-001-05

施工手順

施工準備手順

① 管の切断

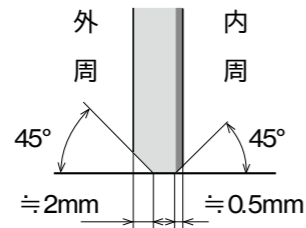
管の端面と軸線とが直角になるようにクランプして切断する。



バンドソー等で切断

② 管端面の面取り

パッキンの損傷や押し込み防止のために管端面を面取りする。



管内外面のバリ、カエリを除去すること

③ 標線の記入

挿入代の位置に、マーキング線を記入する



		呼び	挿入寸法
通気継手	上部	共通	65
	横枝	共通	58
Oリング	LJS-K,EK	100	50
	M,LJS-K,EK 延焼防止材入り	100	40
	US継手	100	60
脚部継手 US継手	フランジ 受け口 (立て管側)	125	60
	フランジ 受け口 (横主管側, US継手下部)	100	46
フランジ	フランジ 受け口 (横主管側, US継手下部)	100	55
	フランジ 受け口 (横主管側, US継手下部)	125	63
	フランジ 受け口 (横主管側, US継手下部)	100	60
	フランジ 受け口 (横主管側, US継手下部)	125	68
フランジ	フランジ 受け口 (横主管側, US継手下部)	150	70
	フランジ 受け口 (横主管側, US継手下部)	200	79

フランジ受け口の挿入寸法は目安です

④ 管とパッキンの清掃

ウエスなどで管表面とパッキン内面を清掃する。



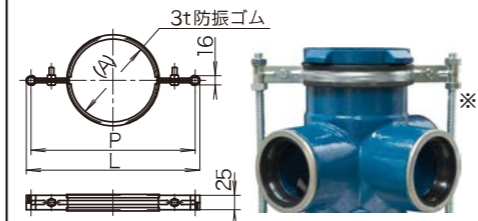
⚠ モルタルの粉塵や、耐火二層管の切粉のほか、ごみや糸くずなどが付着していると、漏水の原因になります。必ず管表面とパッキン内面を清掃してから施工してください。

⚠ ご注意

- 継手に装着してあるVGパッキン(立て管)、KOパッキン(横枝)、Oリングは取り外さないでください。一度取り外したパッキンを取り付けると漏水の原因になります。
- KOパッキンのステンレス補強金具がコンクリートスラブに接触しないように施工してください。配管の振動によって異音発生の原因になります。
- 挿入する管は端面の面取りを行い、バリ、カエリが完全に除去されたものをご使用ください。
- VGおよびKOパッキンに排水管を挿入する場合は、管の外径寸法がJIS規格で定められた許容差内の管をご使用ください。JIS規格から外れている場合や管表面に著しい段差、凹凸、錆、きず等がある場合には、漏水するおそれがあります。
- パッキンの当たり面を付着物のないきれいな状態にしてください。漏水の原因になります。
- 排水立て管および排水横枝管は予めマーキングした呑込代が確保された状態で接合完了してください。
- 満水試験: 30kPa (3mAq) 以上 30分以上 満空試験: 35kPa 以上 15分以上
- KOプラグの組立て及び再装着時には必ずKOPの外周面に固着しない滑剤(シリコングリースメイト)を塗布してから装着してください。
- 本要領書の内容と異なる方法で施工された場合のトラブルに関して、弊社は一切責任を負いません。

支持金具

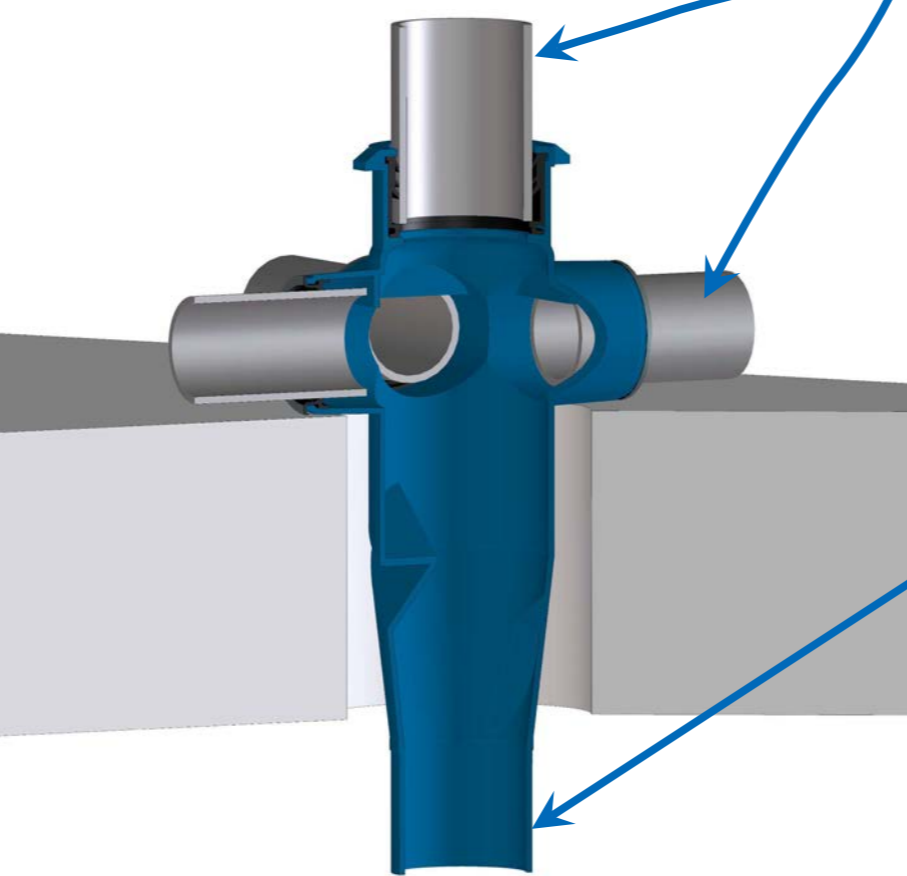
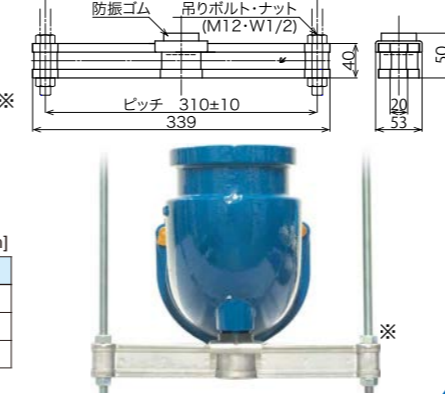
DJセッター 防振ゴム付き
通気継手用



品番	呼び	(A)	P	L
DJ	80	120	260	272
	100	144	280	292
	125	171	380	392

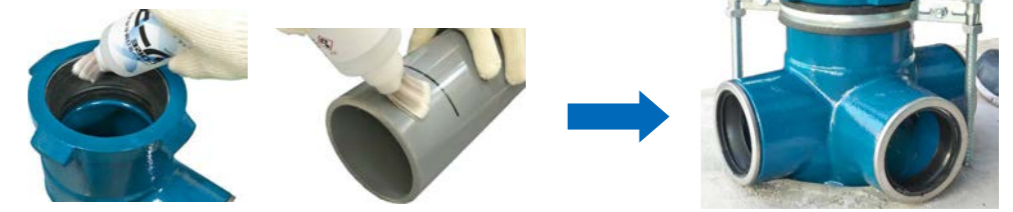
※アンカー、全ねじボルト・ナットは付属しません。

LS40H 防振ゴム付き
脚部継手吊り下げ施工用治具



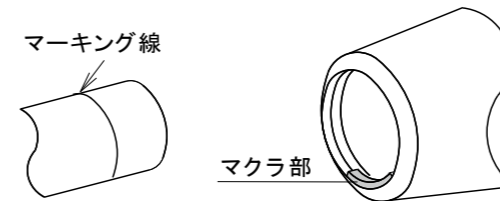
上部立て管

- ① 面取りした立て管と受け口のVGパッキンの全周にCOREソープをたっぷり塗布し、管を垂直に立てて、VGパッキンが内側へ押し込まれないように完全に挿入する。
- ② 立て管を挿入後、VGパッキンが内側へ押し込まれていない事を確認する。
- ③ 差込み深さを示すマーキング線が受口上端面にあることを確認する。



横枝管

- ① 面取りした横枝管および便器接続管を、パッキンのマクラ部に載せ、そのまま水平に継手受口の軸線に沿って押し込み、マーキング線の位置まで挿入する。
- ② マーキング線が横枝管受口端面にあることを確認する。
- ③ 適正なこう配が確保されている事を確認する。



⚠ マーキング線が横枝管受口端面に一致した状態で施工を完了してください。正しく挿入されていない場合は漏水することがあります。横枝管の施工時、滑剤は不要です。

エキセンブッシュ施工方法



- ① EMBにソケット+横枝管を接着する。
 - ② 一体にした横枝管を受け口に挿入する
1. あらかじめエキセンブッシュ(EMB)、ソケット、横枝管を接着してください。
 2. KOパッキンとエキセンブッシュのステンレス面に示した“合い印”が一直線になるように横枝管を接続してください。
 3. エキセンブッシュのステンレス面と、KOパッキンのステンレス面を一致させるように配管施工してください。
 4. KOパッキンの許容可とう角度は±3°です。エキセンブッシュ(EMB)が全周方向に3°以上傾かないように配管してください。配管が3°以上傾くとEMBはKOパッキンから突出し、漏水する場合があります。

下部立て管

● 下部直管部は鋼管外径仕様です。各種立て管受口の施工要領にしたがって施工してください。

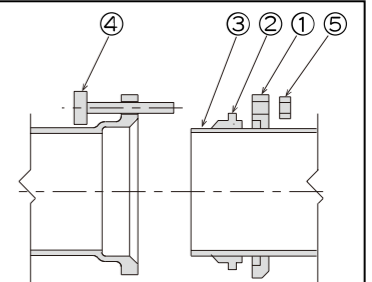
脚部継手, US継手

Oリング仕様

LJS-K,LJS-EK,M,LJS-K
M,LJS-EKの立て管側とUS
継手の上部受け口はOリ
ングによるワンタッチ接
続です。以下の手順に従
って施工してください。
受け口のOリングと、継
手又は立て管の全周に
COREソープをたっぷり塗
布して挿入してください。
接続後、Oリングに異常
がないことを確認して
ください。

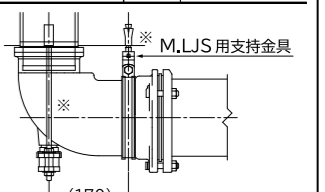
フランジ仕様

LJS-K,LJS-EKの横主管
側、US継手の下部受け
口と、LJ-K,LJL-Kの立
て管及び横主管側の受
口はフランジによるメ
カニカル接続です。以
下の手順に従って施工
してください。
● ①フランジ②KMパ
ッキンを③管又は継手
直管部に通す(滑剤は
使用しない)
● ③管又は継手を受
け口に挿入する
● ④Tボルトを継手側
から挿入する
● ⑤ナットを均等に
指定トルクで締め付
ける



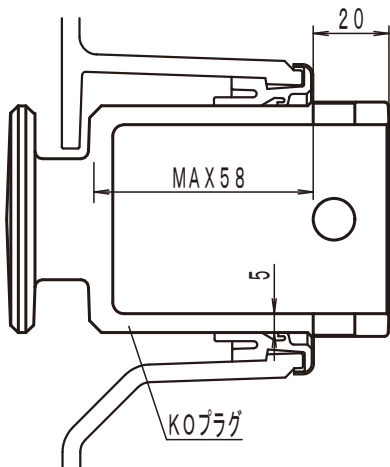
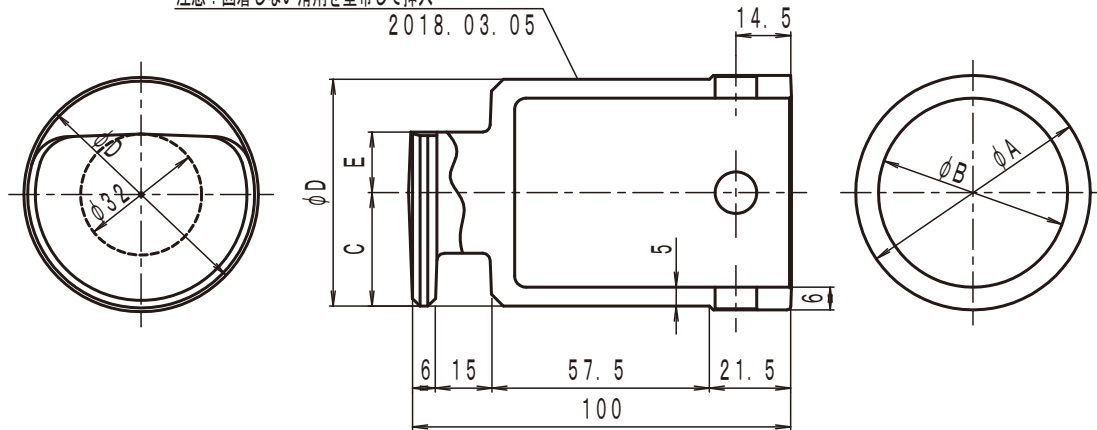
呼び	ボルト・ナット 呼び	工具 呼び	締め付けトルク [N・m]
80	M10	17	25
100	M10	17	30
125	M12	19	40
150	M12	19	45
200	M14	21	75

⚠ 脚部継手はLS40Hと横主管の吊りバンドを用いて施工してください。(3点吊り) M,LJS-K,M,LJS-EK(延焼防止材入り)は、M,LJS用支持金具とLS40Hを用いて施工してください(右図) 接続前に管端面の面取り(C2程度)を必ず行ってください。フランジ接続部には滑剤を使用しないでください。管がマーキング線まで確実に挿入されていることを確認してください。



注意：固着しない滑剤を塗布して挿入

2018. 03. 05



KOプラグ接続部形状

■寸法表 ※締め付け棒は別売品です。

符合	50A	65A	80A
A	62	78	91
B	50	66	79
C	30 ±0.5	38 ±0.5	44.5 ±0.5
D	60 ±0.2	76 ±0.2	89 ±0.2
E	16 ±0.5	24 ±0.5	26 ±0.5

<施工上のご注意>

KOプラグを装着後、白色ペイントが上向きになっていることを確認して下さい。



挿入時（アンロック）
横枝口上面（白色）とKOプラグ（赤色）を合わせる



固定時（ロック）
横枝口上面（白色）とKOプラグ（白色）を合わせる

図種	説明図	品名	KOプラグ		品番	KOP		図番	仕部 09-016-06	
株式会社 小島製作所			単位	尺度	作図年月日	承認	検図	作図		
〒454-0027 名古屋市中川区広川町5丁目1番地 TEL. 052-361-6551 FAX. 052-361-6556 URL. http://www.kojima-core.co.jp			mm	1 : 2	2018. 04. 20	加古	岩槻	大浦		